

# 森林組合が進める森林環境教育

## 森林環境教育とは

森林内での様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めることです（平成14年度森林・林業白書）

## 森林組合にどんなメリットがあるのかな

### 新規事業分野として

- ・ 森林環境教育は大きな可能性を秘めた新たな分野です
- ・ 従来と異なる視点で、森林のソフト的な利用による収入が期待できます

### 内部資源の新たな活用

- ・ 新たな取組は人材の活用、森林組合の活性化につながります

### 地域の活性化・森林組合の認知度の向上

- ・ 既存資源の新たな利用、外から地域に人が訪れることは地域振興になります
- ・ 地域への森林組合のPRと認知度の向上になります

### 連携する企業イメージの向上と社員教育

- ・ 企業連携による活動は、環境に貢献する企業のイメージづくりと社員の意識改革につながります
- ・ 様々な企業との連携は森林組合の新たな事業機会を作ります

## 森林環境教育が生まれた背景

- ① 環境の問題から：世界的な森林の減少・衰退、地球温暖化現象など  
二酸化炭素の吸収源など、森林の多面的機能への期待
- ② 林業の問題から：日本の木材が利用されない、林業の不振、森林の荒廃など  
木材の循環型資源・バイオマス資源としての利用促進への期待  
持続可能な森林経営の実現への期待
- ③ 教育の問題から：子どもたちの自然体験や社会体験などの実体験の不足など  
生きる力を育てる教育の場としての期待  
総合的な学習の時間、環境教育の場としての期待
- ④ 暮らしの問題から：日常の暮らしに自然環境がなくなってきたこと  
生活の中で木を使い、木に親しむ機会が少なくなってきたこと  
レクリエーション空間や癒しの場としての期待  
人と自然に優しい素材として木材を使う暮らしへの期待

## 森林環境教育が目指すもの それは循環型社会の構築

森林には多面的なたくさんの機能があることを多くの人々に理解してもらい、森林と人とが共存する循環型社会の実現に向け、様々な取組と人々の意識改革がなされること